2018年４月期第２四半期
決算説明会資料

2017年12月12日

インスペック株式会社

JPX
東証二部上場

（証券コード：6656）

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

目次

inspec Inc.

- 会社概要 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 業績見通し …… 9
- 今後の経営戦略（インスペックの成長戦略）…. 10
- 半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業 …… 12
- 精密基板製造装置関連事業 …… 18
- デジタルパソロジー関連機器事業 …… 22

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

インスペックの概要 （2017年10月31日現在）

inspec Inc.

商号	インスペック株式会社
本社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創業	1984年(昭和59年)1月
上場	2006年6月(東証マザーズ 証券コード:6656) 2017年9月(東証二部へ市場変更)
代表者	代表取締役社長　菅原　雅史
主な事業	電子回路基板(半導体パッケージ基板・FPC等)の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販売・サービス 医療関連機器の開発・製造・販売
連結子会社	2社(First EIE SA、クラーロ㈱)
従業員	連結:71名　　個別:46名
資本金	811百万円
発行済株式数	3,259,600株 （単元株数:100株）
株主数	2,418名

インスペック 秋田県仙北市角館町

非連結子会社
Inspec TAIWAN
台湾桃園県

東京オフィス
東京都港区浜松町

連結子会社

First EIE SA
スイス・ニヨン

当社持株比率:89%

プリント基板用フォトプロッター
インクジェット プリンター
ダイレクトイメージング装置の
開発・製造・販売・保守サービス

連結子会社

クラーロ株式会社
青森県弘前市

当社持株比率:26.1%

医療用画像処理システム
「バーチャルスライドシス テム
(WSI)」の開発・製造・販売・
保守サービス

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

2018年4月期第2四半期　業績ハイライト

inspec Inc.

- 連結：売上が下期になる案件が多く、上期は計画未達
  子会社株式取得に伴う、のれん償却費の追加計上により利益を圧迫
- 個別：引合い、受注は堅調だが、売上が下期に集中

■連結業績概要

単位：百万円

	2017年4月期2Q	2018年4月期2Q	前期比	増減率
売上高	861	639	△222	△25.8%
営業利益	△6	△278	△272	―
経常利益	△19	△288	△269	―
親会社株主に帰属する当期純利益	△13	△262	△249	―

■個別業績概要

単位：百万円

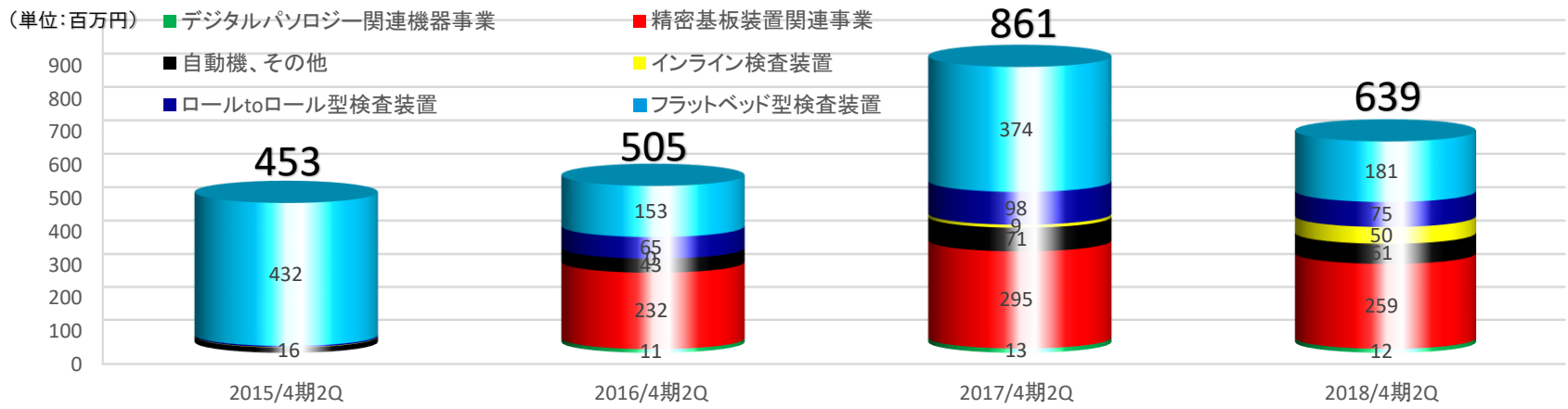
	2017年4月期2Q	2018年4月期2Q	前期比	増減率
売上高	552	368	△184	△33.3%
営業利益	21	△127	△148	―
経常利益	15	△128	△143	―
当期純利益	13	△139	△152	―

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

セグメント別売上高

inspec Inc.

	2017年4月期2Q			2018年4月期2Q			増減率
	金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）	金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）	
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	552	100.0%	64.2%	368	100.0%	57.6%	△33.3%
フラットベッド型検査装置	374	67.9%	43.6%	181	49.4%	28.6%	△51.6%
ロールtoロール型検査装置	98	17.7%	11.4%	75	20.4%	11.7%	23.5%
インライン検査装置	9	1.6%	1.0%	50	13.6%	7.8%	455.6%
自動機、その他	71	12.8%	8.2%	61	16.6%	9.5%	△14.1%
精密基板製造装置関連事業	295	—	34.3%	259	—	40.5%	△12.2%
デジタルパソロジー関連機器事業	13	—	1.5%	12	—	1.9%	△7.7%
連結売上高	861	—	100.0%	639	—	100.0%	△25.8%

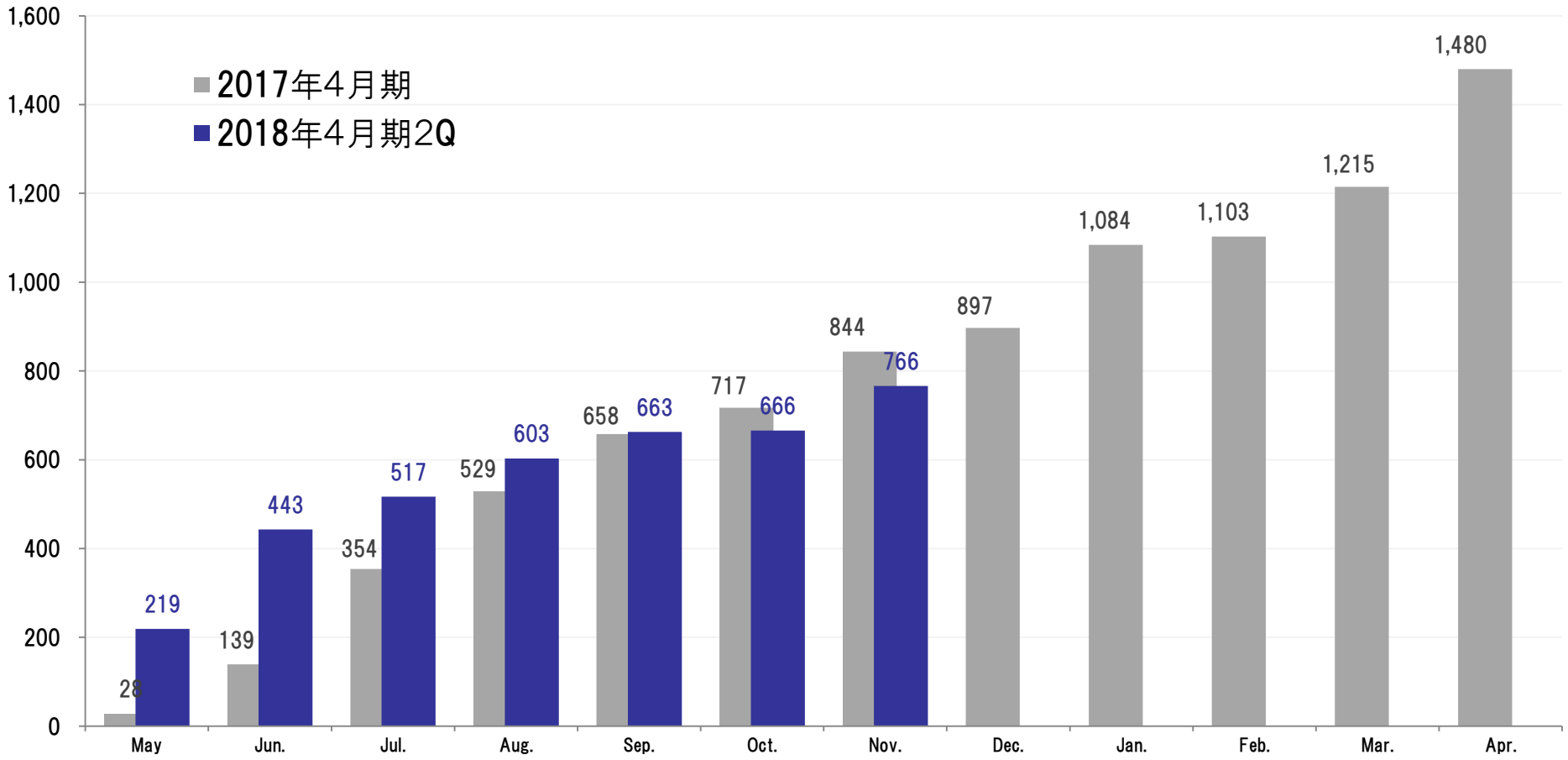


Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

個別月次受注状況の推移(毎月開示)

inspec Inc.

(単位:百万円)



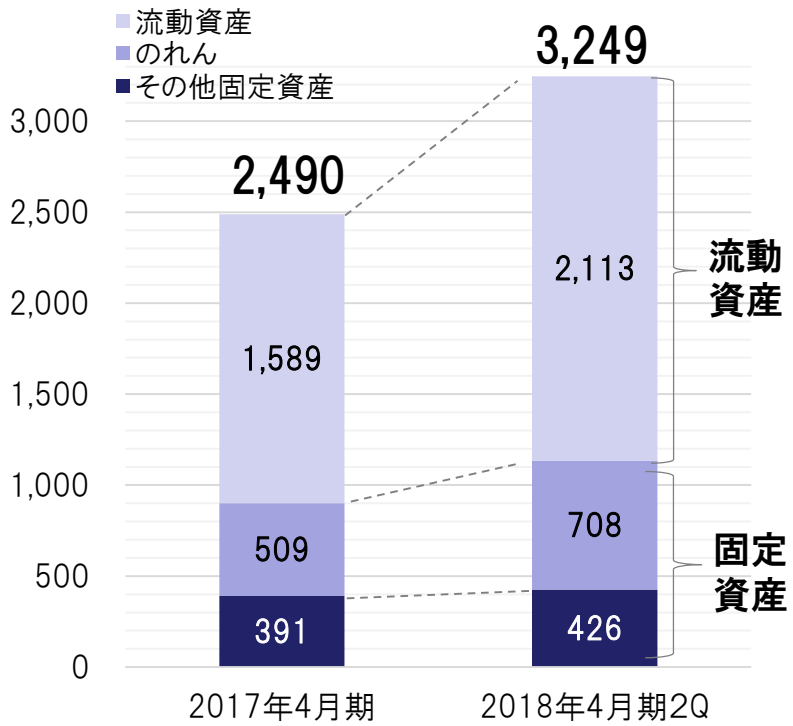
Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

要約連結貸借対照表

inspec Inc.

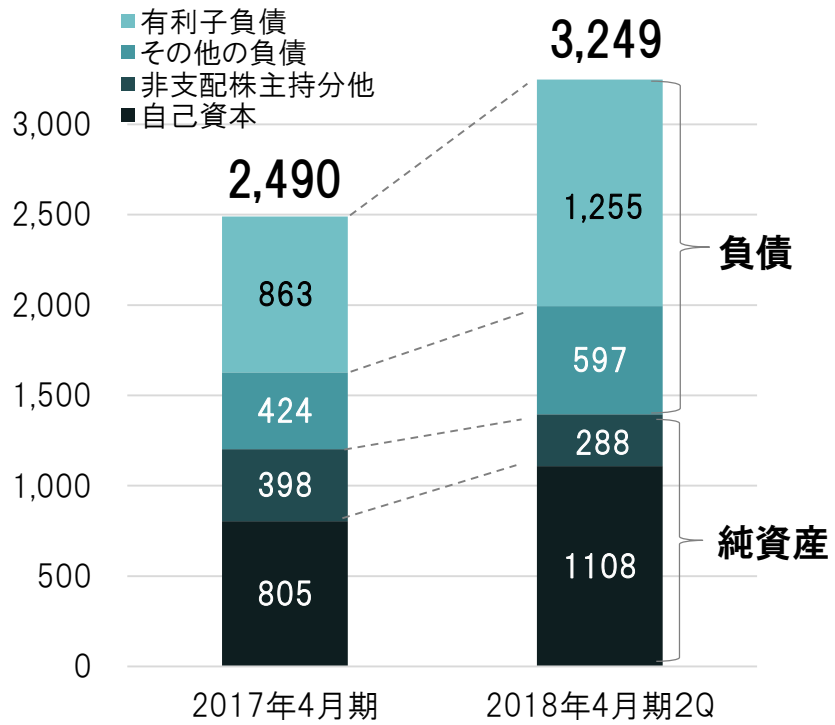
資産の部

（単位：百万円）



負債の部、純資産の部

（単位：百万円）



	2017年4月期	2018年4月期2Q
自己資本	805百万円	1,108百万円
自己資本比率	32.3%	34.1%

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

要約連結キャッシュ・フロー計算書

inspec Inc.

	2017年4月期 金額(百万円)	2018年4月期２Ｑ 金額(百万円)
期首現金及び 現金同等物残高	340	775
営業活動による キャッシュ・フロー	346	△149
投資活動による キャッシュ・フロー	△141	△68
フリー キャッシュ・フロー	205	△217
財務活動による キャッシュ・フロー	232	559
現金及び現金同等 に係る換算差額	△3	3
現金及び現金同等物 の増減額（減少△）	434	345
期末現金及び 現金同等物残高	775	1,121

◆営業活動によるキャッシュ・フロー

- 営業活動の結果、149百万円の資金を使用

◆投資活動によるキャッシュ・フロー

- 本社土地取得により21百万円の資金を使用

◆財務活動によるキャッシュ・フロー

- 新株の発行より544百万円を資金調達
- 社債の発行により500百万円を資金調達

➢現金及び現金同等物
345百万円の増加

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

研究開発費

inspec Inc.

	2017年4月期2Q		2018年4月期2Q		対前年増減率
	金額（百万円）	対売上比	金額（百万円）	対売上比	
研究開発費（連結）	55	6.4%	71	11.1%	29.1%
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	51	9.2%	57	15.6%	11.8%
精密基板製造装置関連事業	2	0.8%	2	0.8%	0.0%
デジタルパソロジー関連機器事業	2	15.3%	11	88.8%	450.0%

◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

ロールtoロール AOI用エンジン、照明開発、高速インラインテスト機等の開発 ： 販売促進に貢献

◆精密基板製造装置関連事業

大型プロッターの開発 ： 大画面タッチパネル分野に進出

◆デジタルパソロジー関連機器事業

①UH-50Lの開発、②戦略製品の新規開発：開発及び事業を加速させるため、WHIZ-Pから5億円調達

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

2018年4月期 業績見通し　セグメント別売上高

inspec Inc.

	2017年4月期実績		2018年4月期見通し		対前年増減率
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	
連結売上高	2,159	100.0%	2,650	100.0%	22.7%
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,507	69.8%	1,800	67.9%	19.4%
精密基板製造装置関連事業	606	28.1%	750	28.3%	23.8%
デジタルパソロジー関連機器事業	45	2.1%	100	3.8%	122.2%

◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

メーカー各社の生産量拡大、回路基板の微細化の進化に伴い堅調な受注状況継続。

◆精密基板製造装置関連事業

大型プロッターを開発し大画面タッチパネル分野に進出。従来装置と併せ前期比増を見込む。

◆デジタルパソロジー関連機器事業

UH-5Sの医療機器認証作業を加速させ、市場拡大の波を捉える。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

インスペックの成長戦略

戦略1　中期戦略
- FPC＆COF向けロールtoロール検査装置
- インライン検査システム
- 超精密基板向け検査装置

戦略2　中長期戦略
- AIを活用した新たな検査システム
- 医療・バイオ分野の新製品開発

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

グループ経営で世界へチャレンジ！

インスペック
Japan

精密基板の外観検査

メインターゲット
アジア

技術開発
製品開発

クロスセル
製品開発

クラーロ
Japan

Whole Slide Imaging

メインターゲット
米国・欧州・アジア

AI

First EIE
Swiss

基板の製造装置

メインターゲット
ヨーロッパ・アジア

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

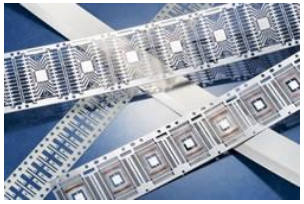
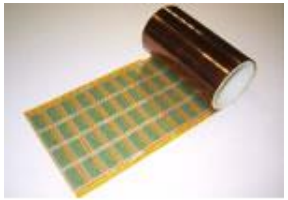
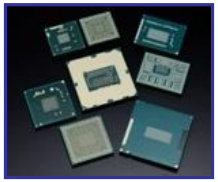
インスペック株式会社

精密基板AVI BF1100

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

進化を続けるデバイスに、最適な検査装置を提供

inspec Inc.

製品の進化	検査対象製品	検査装置
自動車の進化 20**年～	リードフレーム 	リードフレーム検査装置 3千万円～5千万円
テレビの進化 2001年～	TABテープ 	TABテープ検査装置 5千万円～1億2千万円
コンピューターの進化 2007年～	精密基板 CPU用超精密基板 	基板AOI(※) 基板AVI(※) 3千万円～6千万円
ウエアラブル機器への進化 2015年～	FPC(フレキシブル基板)	FPC向けAVI 5百万円～1千万円

※ AOI:パターン検査装置 AVI:最終外観検査装置

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

スマホ、ウェアラブルの増加が、FPC需要を後押し

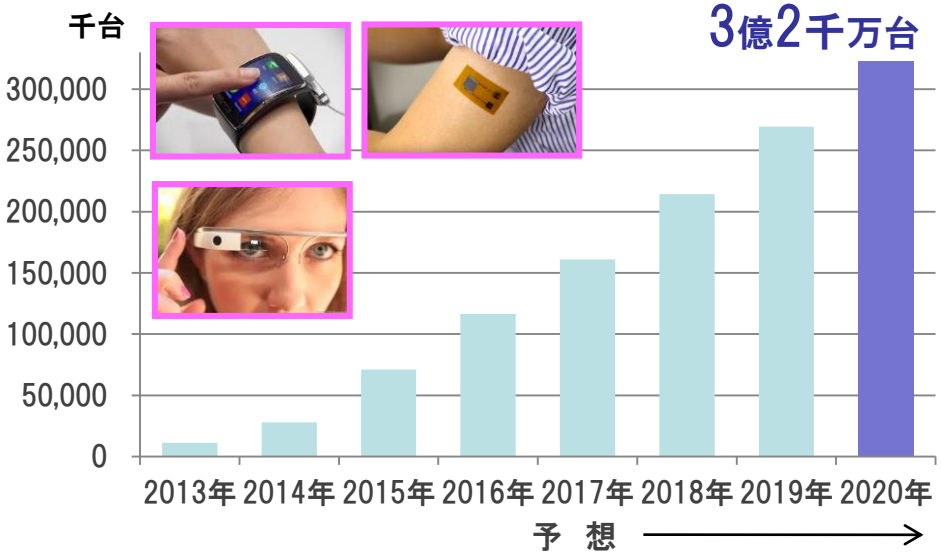
inspec Inc.

世界のハンドセット市場規模推移

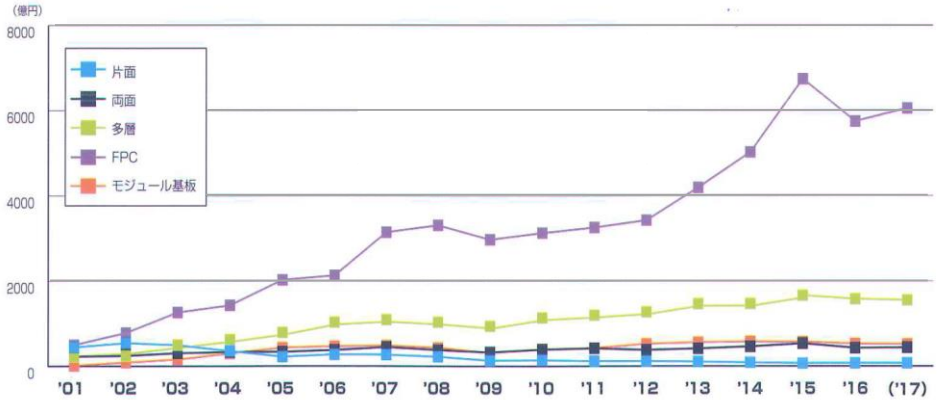
出所：矢野経済研究所

ウェアラブルデバイス世界市場の推移と予測

出所：矢野経済研究所



日系企業の品種別海外生産推移



Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

主要3分野の製品戦略

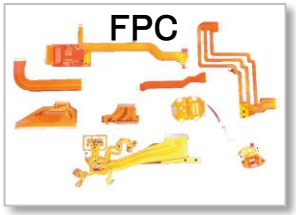
inspec Inc.

1、ロールtoロール型検査装置(FPC分野、COF分野)

・モバイル機器、ウエアラブル機器など高成長

・ロールtoロール高精度パターン検査で差別化

・TABテープ時代からの圧倒的なノウハウの蓄積



ロールtoロール型検査装置

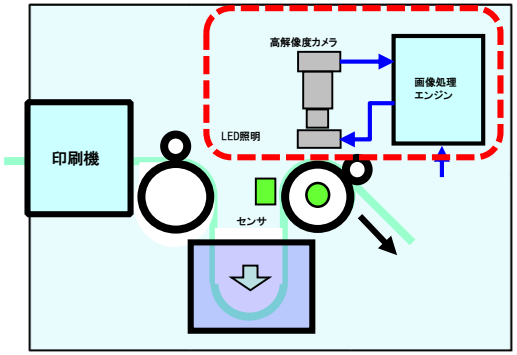
2、インライン検査装置

・IoTの拡大でマイクロデバイスが急増

・製品の高度化→インライン検査のニーズが拡大

・ロールtoロールの連続検査技術によりインライン検査が可能

インライン検査装置



3、精密基板検査装置(フラットベッド型)

・クラウドサーバーの拡大で高性能CPUが増加

・AIの進化でディープラーニング用デバイスが急拡大

・最先端のファインパターン検査(AOI)に唯一対応

半導体PKG基板

精密基板検査装置

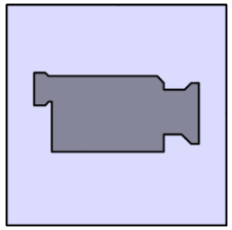
Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

主要製品のご紹介

inspec Inc.

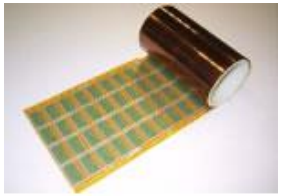
超精密AVI

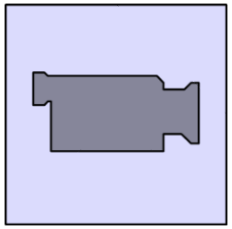
CPU等半導体向け



ロールtoロールAVI

液晶テレビ
有機ELテレビ
PCモニター

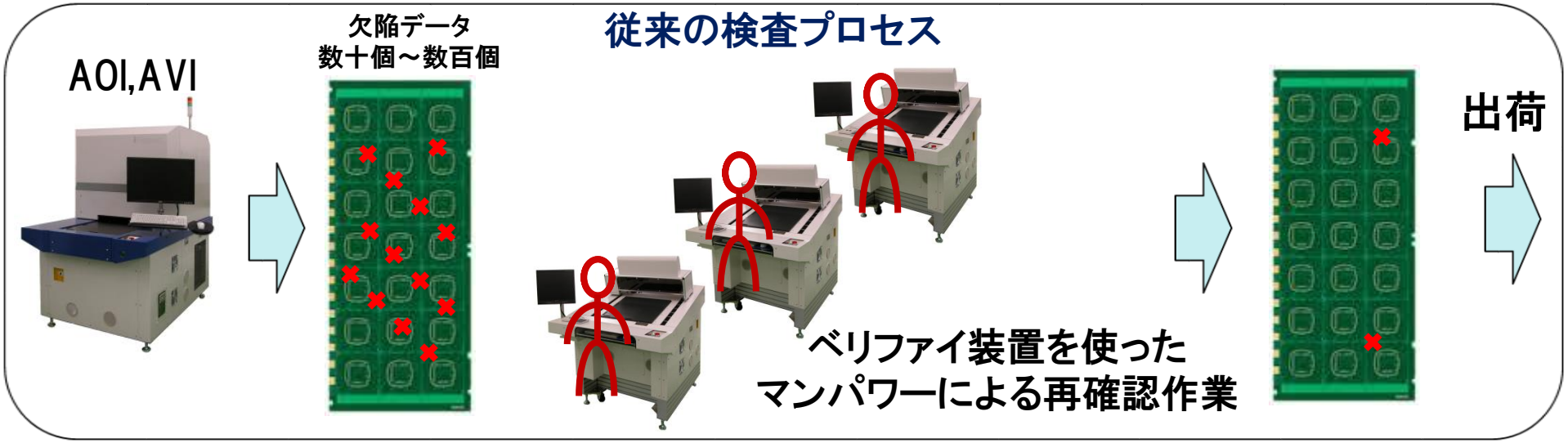


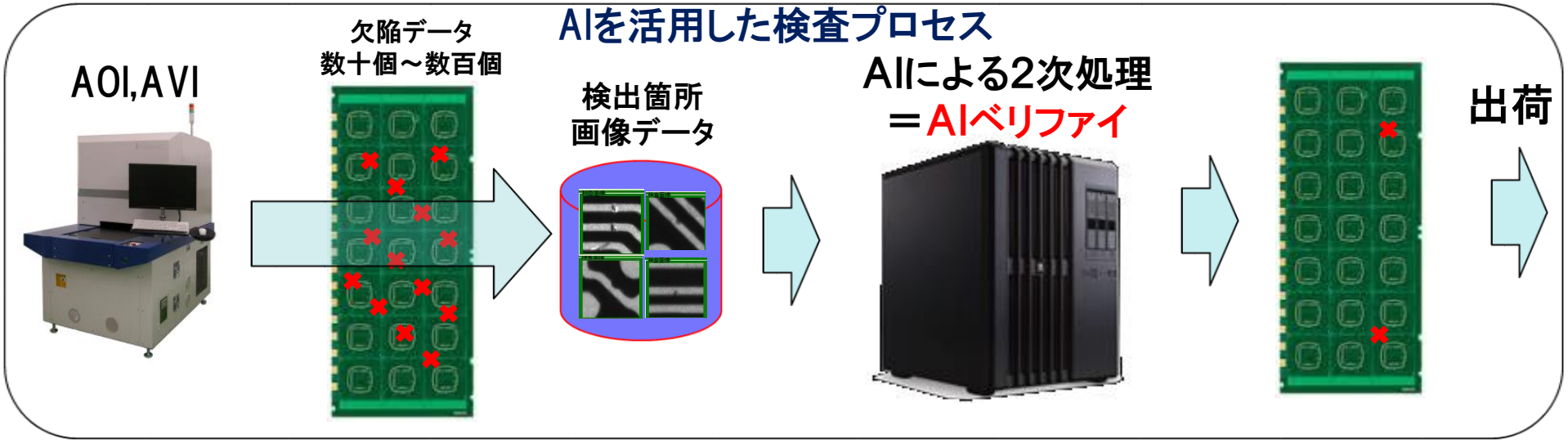


Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

AI取り組み ：AI(人工知能)の活用で出来ること

inspec Inc.





Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

精密基板製造装置関連事業

First EIE SA

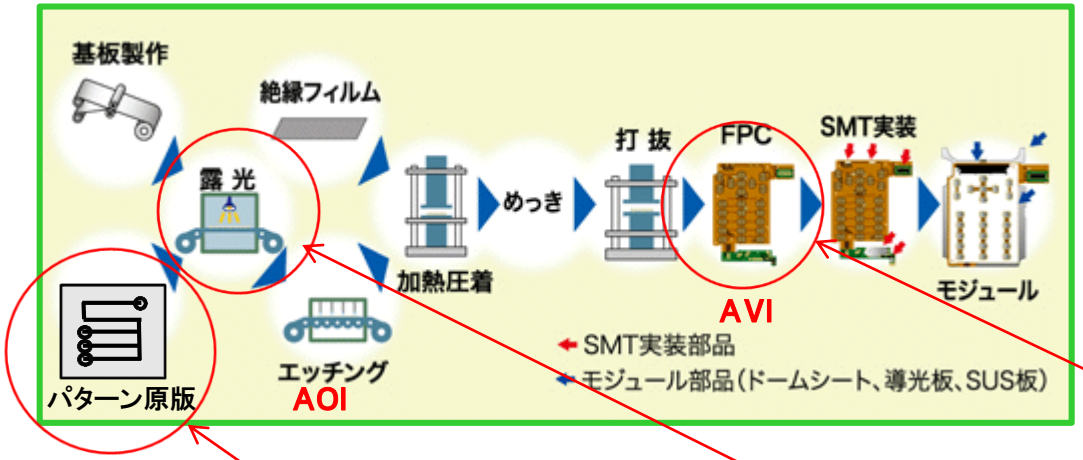
レーザーフォトプロッター RP700

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First EIE社 製品ラインナップ

inspec Inc.

プリント基板の製造工程



市場規模(世界)

フォトプロッター　：20億円～40億円
ダイレクトイメージング　:200億円～300億円
インクジェットプリンター：10億円～20億円

フォトプロッター
（基板のフィルム原版を印刷する装置）

ダイレクトイメージング
（基板にパターンを直接描画する装置）

インクジェットプリンター
（基板上に回路記号等を印刷する装置）

RP500

RP750

EDI500

CP562

主力製品：世界市場で750台以上の実績

新製品：目標ニッチトップ

多品種生産対応機

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First　EIE社とのシナジーによる成長戦略

inspec Inc.

1st Step　クロスセルにより両社の対象市場を大きく拡大

→M&Aによるアップセル効果

2nd Step　技術コラボによる新製品

DI技術（F-EIE）と画像処理技術（ｲﾝｽﾍﾟｯｸ）

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First EIE社のグローバル拠点を活用

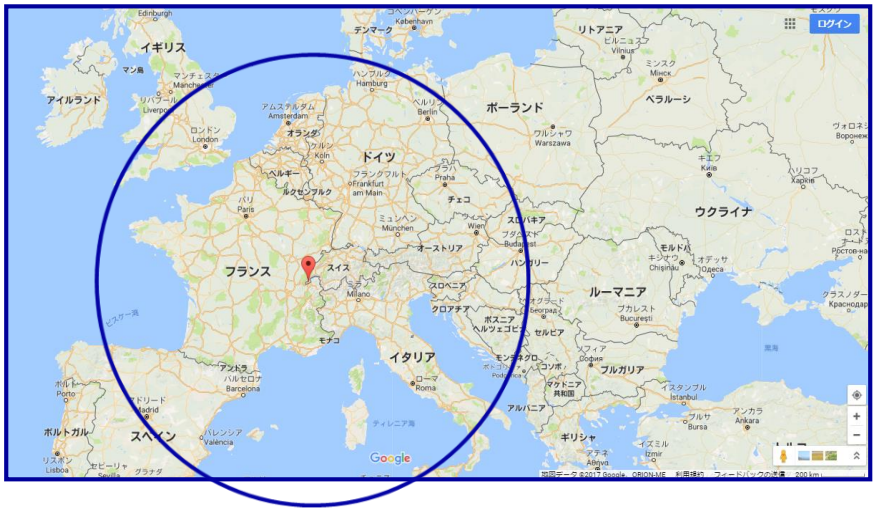
inspec Inc.

First EIE社の本社工場移転→コストダウン＆品質向上＆キャパUP

Nyonの新工場(2017年9月に移転)
ニヨン(Nyon)

インスペック及びクラーロのヨーロッパ市場に於けるサービス拠点として運用

半径約1000Km(飛行機で約1．5時間)



Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

デジタルパソロジー関連機器事業

クラーロ株式会社

Whole Slide Imaging　Fino-2L

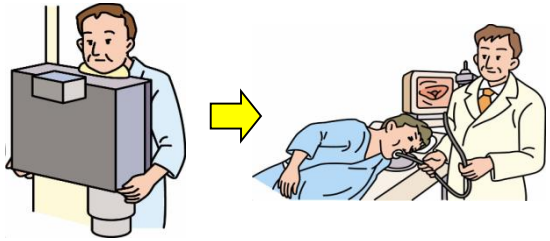
Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

顕微鏡観察からWSI(Whole Slide Imaging)での観察へ

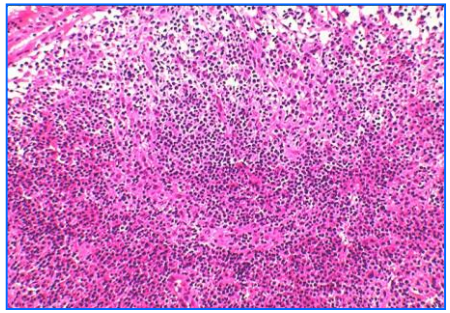
inspec Inc.

今まで → これから

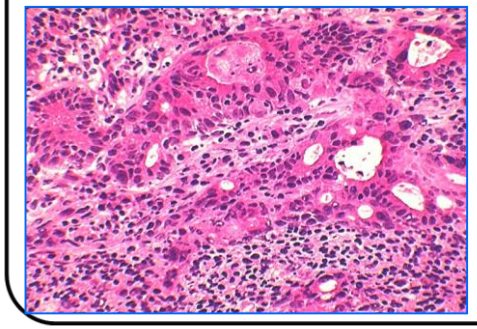
従来の顕微鏡による検査



正常な細胞



がん化した細胞

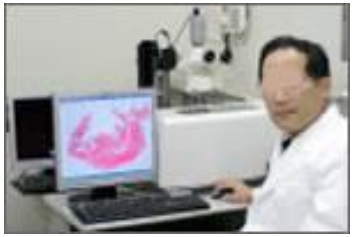


・病理医が不足
・一人しか観察できない。
・画像を保存出来ない。

ＷＳＩで撮像

デジタル画像化

デジタル画像で検査



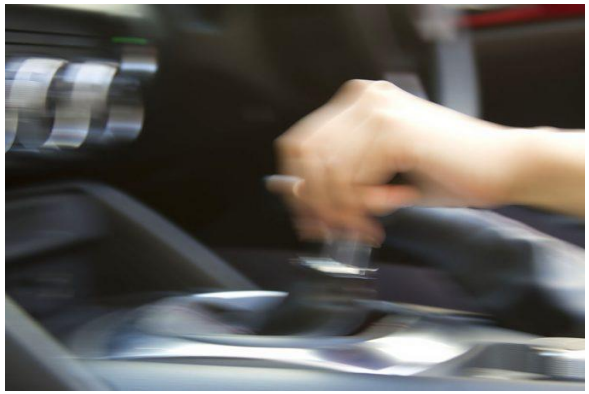
◎遠隔地で検査できる。
◎複数の病理医が同時に検査できる。
◎診断した組織の画像を保存出来る。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

クラーロのギアチェンジ！

inspec Inc.

- 2018年1月：新製品「UH-50L」のリリース（予定）
- 2017年12月：戦略製品「G-Pro」の開発スタート
- 2017年11月：強力な人材の結集（営業、開発、医療機器）



- 2017年10月31日：WHIZパートナーズから**5億円の資金調達**
- 2017年1月12日に事業譲渡完了

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

ご清聴ありがとうございました。

インスペックグループは、世界におけるオンリーワン企業を目指しチャレンジを続けてまいります。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved